

ルータ

RVS4000-JP GUI 設定ユーティリティ 画面一覧

設定(本体の設定)(テキスト版)

Router (RVS4000-JP)の GUI 設定ユーティリティ(Web 画面)について説明します。

Small Business 製品の設定及び受胎確認は GUI (Web 画面)で行うことができます。

RVS4000-JP の GUI は、

- 1) 設定(本体の設定)
- 2) ファイアウォールの設定
- 3) VPN の設定
- 4) 各種管理の設定
- 5) IPS の設定
- 6) L2 スイッチの設定
- 7) ステータスの表示

の7項目にて構成されております。

本ドキュメントでは、1)設定(本体の設定)について説明します。

1. ログイン

Router のすべての GUI 設定ユーティリティを表示するには、WindowsPC とルータを LAN ケーブルにて接続し、

インターネットエクスプローラにてログインする必要があります。Router の IP アドレスは、デフォルトでは、192.168.1.1 となっておりますので、アドレスバーの入力し、ログイン画面を表示します。



Router (RVS4000-JP) ログイン画面

上記の画面において、ユーザ名及びパスワード(デフォルトではともに admin)を入力し、OK を選択します。

OK を選択することにより、以下に示す本体の概要画面が表示されます。

Small Business
cisco RVS4000 4ポートギガビットVPNセキュリティルータ

概要

システム情報

ファームウェアバージョン: V2.0.2.7	DRAM: 64MB
CPU: STAR 9202	フラッシュ: 8MB
システムアップタイム: 0日, 01:55:23	

ポート統計情報



ネットワークの設定ステータス

LAN IP:	192.168.1.1	DNS1:	202.248.0.72
WAN IP:	111.171.148.28 <input type="button" value="接続解除"/> <input type="button" value="接続"/>	DNS2:	210.131.113.126
モード:	Gateway	DDNS:	Off
DMZ:	Off		

ファイアウォールの設定ステータス

DoS(サービス拒否):	On
WAN要求のブロック:	On
リモート管理:	Off

IPSec VPNの設定ステータス

IPSec VPNの概要

使用中のトンネル:	0
使用可能なトンネル:	5

ログの設定ステータス

Eメール:	Eメールを送信できません。宛信SMTPサーバアドレスが指定されていません。
-------	---------------------------------------

RVS4000-JP 概要画面(初期表示画面)

上記の概要画面において左下の更新を選択することにより、概要に表示されているステータスを更新します。

上記の画面において、左側のメニューにて設定を選択することにより、以下の画面が表示されます。

2. 設定-概要

The screenshot shows the Cisco RVS4000 web interface. The left sidebar contains a navigation menu with the following items: 設定 (Settings), 概要 (Summary), WAN, LAN, DMZ, MACアドレスの複製 (MAC Address Cloning), 拡張ルーティング (Advanced Routing), 時間 (Time), IPモード (IP Mode), ファイアウォール (Firewall), VPN, QoS, 各種管理 (General Management), IPS, L2スイッチ (L2 Switch), and ステータス (Status). The main content area is titled '概要' and contains several sections:

- システム情報 (System Information):** ファームウェアバージョン: V2.0.2.7, CPU: STAR 9202, システムアップタイム: 0日, 01:58:29, DRAM: 64MB, フラッシュ: 8MB.
- ポート統計情報 (Port Statistics Information):** Includes a photograph of the device.
- ネットワークの設定ステータス (Network Configuration Status):** LAN IP: 192.168.1.1, WAN IP: 111.171.148.28 (with buttons for 接続解除 and 接続), モード: Gateway, DMZ: Off, DNS1: 202.248.0.72, DNS2: 210.131.113.126, DDNS: Off.
- ファイアウォールの設定ステータス (Firewall Configuration Status):** DoS(サービス拒否): On, WAN要求のブロック: On, リモート管理: Off.
- IPSec VPNの設定ステータス (IPSec VPN Configuration Status):** IPSec VPNの概要, 使用中のトンネル: 0, 使用可能なトンネル: 5.
- ログの設定ステータス (Log Configuration Status):** Eメール: Eメールを送信できません。発信SMTPサーバアドレスが指定されていません。

At the bottom of the main content area, there is a '更新' (Refresh) button.

設定-概要画面

上記の画面のように左メニューの設定の直下に概要が表示され、それより下に本体の各設定項目が表示されます。

上記の画面において WAN を選択することにより、以下の WAN の設定画面が表示されます。

3. 設定-WAN



設定-WAN 画面

上記の画面が WAN の設定画面です。ここでは、インターネットの接続タイプを選択し、そのタイプに対応する情報を

入力後、保存を選択します。

続いて、LAN の設定を行います。上記の画面において LAN を選択することにより、以下の画面が表示されます。

4. 設定-LAN

LAN

IPv4

ローカルIPアドレス:

サブネットマスク:

サーバ設定(DHCP)

DHCPサーバ: 有効 無効 DHCPリレー

DHCPサーバ:

開始IPアドレス:

DHCPユーザの最大数:

クライアントリース時間: 分(「0」は「1日」の意味)

スタティックDNS 1:

スタティックDNS 2:

スタティックDNS 3:

WINS:

スタティックIPのマッピング

スタティックIPアドレス:

MACアドレス:

ホスト名:

IPv6

IPv6アドレス: プレフィクス長:

ルータアドレスソート: 有効 無効

DHCPv6

DHCPv6: 有効 無効

リース時間: 分(「0」は「1日」の意味)

DHCPv6アドレス範囲の先頭:

DHCPv6アドレス範囲の末尾:

プライマリDNS:

セカンダリDNS:

設定-LAN 画面

上記の画面が LAN の設定画面です。ここでは、ネットワーク上に配置する本ルータのローカル IP アドレス等 LAN 環境の設定を行います。

各項目に対して設定可能な範囲内にて情報を入力し、保存を選択します。

続いて、必要に応じて DMZ の設定を行います。上記の画面において DMZ を選択することにより、以下の画面が表示されます。

5. 設定-DMZ



設定-DMZ 画面

上記の画面が DMZ の設定画面です。ここでは、公開する IP アドレスがある場合、DMZ ホスティングを有効とし、DMZ ホストの IP アドレスを入力後、保存を選択します。

続いて、インターネットサービスプロバイダ (ISP) に PC の MAC アドレスを登録している場合、MAC アドレスの複製を行います。

上記の画面において MAC アドレスの複製を選択することにより、以下の画面が表示されます。

6. 設定-MAC アドレスの複製



設定-MAC アドレスの複製画面

上記の画面が MAC アドレスの複製の設定画面です。ここでは、ISP に PC の MAC アドレスを登録している場合に、その MAC アドレスを本ルータがクローンし、ISP に登録済みの PC の MAC アドレスをルータの MAC アドレスに変更することなしに ISP を使用するために設定です。

必要がある場合 (ISP が PC の MAC アドレス登録制) の場合は、MAC アドレスの複製を有効とし、登録済の PC の MAC アドレスを入力後、保存を選択します。

続いて、拡張ルーティングの設定を行います。上記の画面において拡張ルーティングを選択することにより、以下の画面が表示されます。

7. 設定-拡張ルーティング



設定-拡張ルーティング画面

上記の画面が拡張ルーティングの設定画面です。ISPと接続する場合は、動作モードでゲートウェイを選択します。このモードでは、接続されるすべてのネットワークデバイスからWANの参照が可能となります。

動作モードがゲートウェイの場合はNATが有効となります。

動作モードにてルータを選択した場合は、他にISPと接続しているルータが必要となります。また、NATは無効となり、PC毎にインターネットのIPアドレスの設定が必要となります。

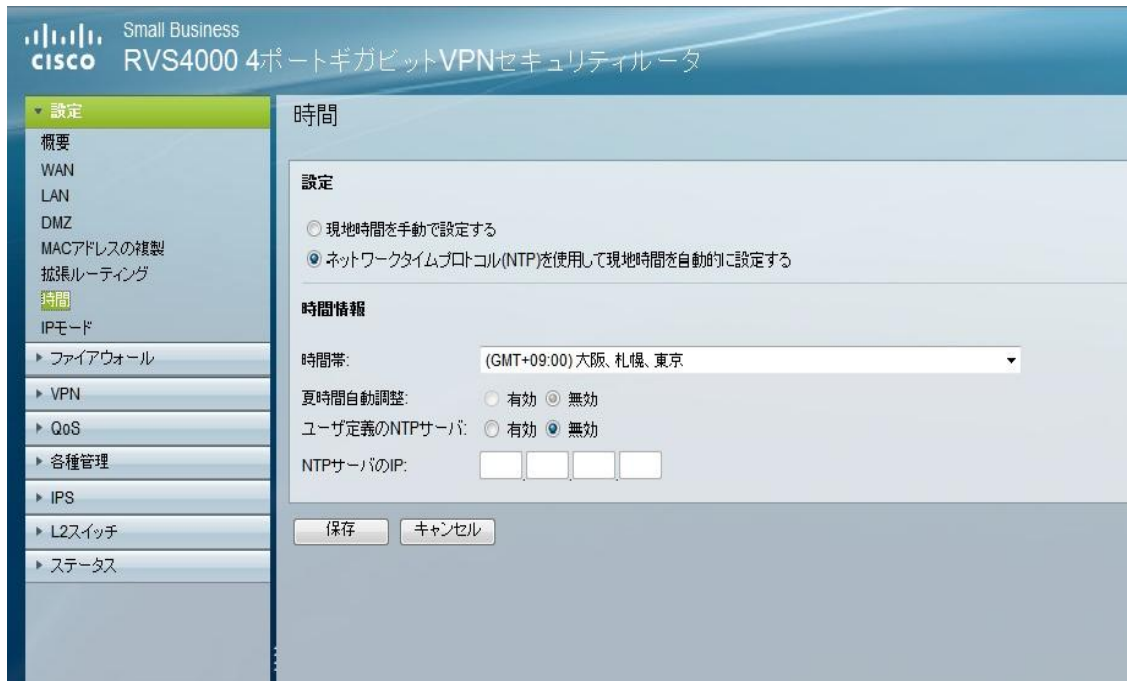
スタティックルーティングが必要な場合は、スタティックルーティングのエントリを作成します。

VLAN間ルーティング(異なるサブネットVLAN間パケットルーティング)が必要な場合に、VLAN間ルーティングを有効にします。

拡張ルーティングの設定が完了後、保存を選択します。

続いて、本ルータの時間の設定を行います。上記の画面において時間を選択することにより、以下の画面が表示されます。

8. 設定-時間



設定-時間

上記の画面が時間の設定画面です。ここでは、ルータの時間を手動で設定するのか、NTPを使用するのかを選択します。さらに、日本の場合は時間帯で(GMT+9:00)大阪、札幌、東京を選択します。待つ時間の調整が必要な場合は夏時間を有効にします。

ユーザ自身がNTPサーバを持っている場合には、ユーザ定義のNTPサーバを有効にし、NTPサーバのIPアドレスを入力します。

時間の設定が完了後、保存を選択します。

最後にIPモードの設定を行います。上記の画面においてIPモードを選択することにより、以下の画面が表示されます。

9. 設定-IP モード



設定-IP モード画面

上記の画面が IP モードの設定画面です。モードを IPv4 のみと選択した場合は、インターネット及びローカルネットワークは IPv4 を利用します。

デュアルスタック対応 IP を選択した場合は、インターネットは IPv4 を利用し、ローカルネットワークでは IPv4 及び IPv6 を利用します。LAN の IPv6 ホストは、6to4 トンネル (RFC3056) を経由してリモートの IPv6 アイランドに接続します。

IP モードの設定が完了後、保存を選択します。

以上で RVS4000-JP の設定 (本体の設定) の説明は終了です。